

(6) 試験結果の概要
別紙4参照

5 評価の概要

(1) 議論・質疑が集まったところ

- ・ 多様な伝搬環境における音声・画像・データの品質における検討について
- ・ 双方向マルチホップ通信時の伝送特性について
- ・ セキュリティ技術の適用について
- ・ 人体適応型アンテナの特性について
- ・ パケット伝送時間について

(2) 頂いたコメント、提言等

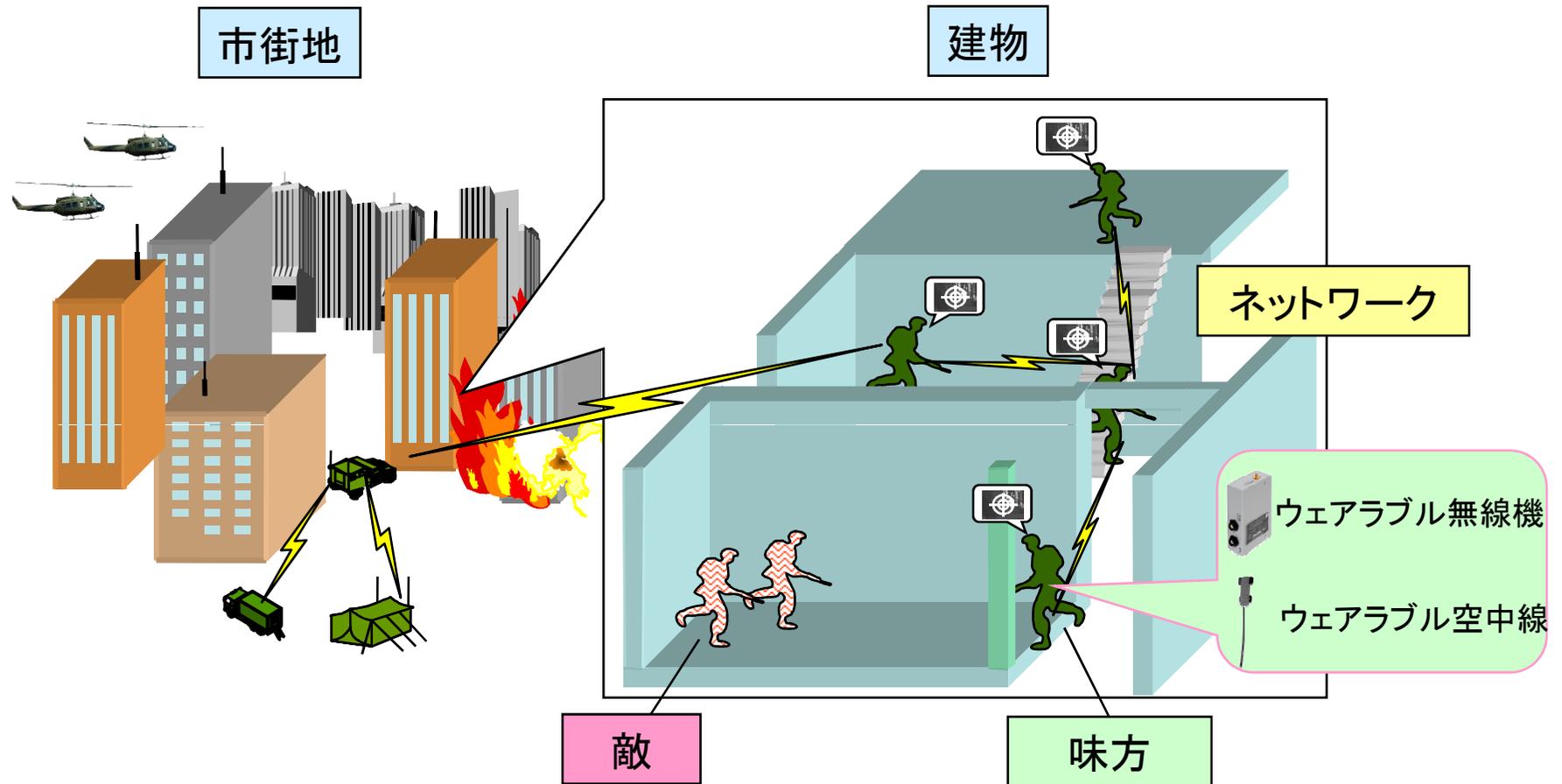
- ・ 要求品質の異なる音声・画像・データの伝送に関する、多様な伝搬環境における検討
- ・ 経路変更に伴うセッション確立までの時間の短縮
- ・ 双方向マルチホップ通信における中継端末の位置、間隔、移動速度による詳細な伝送特性
- ・ 盗用された場合での中継端末の無効化などのセキュリティ技術
- ・ 協力的中継によるスループット及び確達率の向上
- ・ 伏せ姿勢時のアンテナ利得低下の改善
- ・ 情報共有のメリットを生かした隊員の状況把握の向上

(3) 外部評価委員会のまとめ

隊員の行動を阻害しない人体適応型空中線、小型無線機及びアドホックネットワークに対する検討を行い、建屋内等においても、アドホックネットワークで音声と画像の伝送ができることを実証したネットワーク情報共有システムであるものと判断できる。

今後は、様々な運用環境において実績を重ねることなどにより、引き続きネットワーク情報共有システムの能力向上に係る検討を期待する。

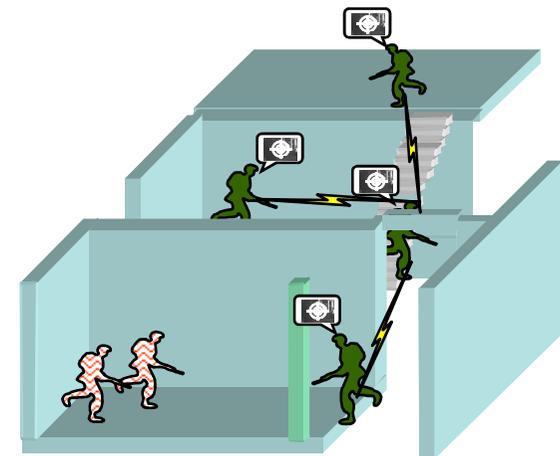
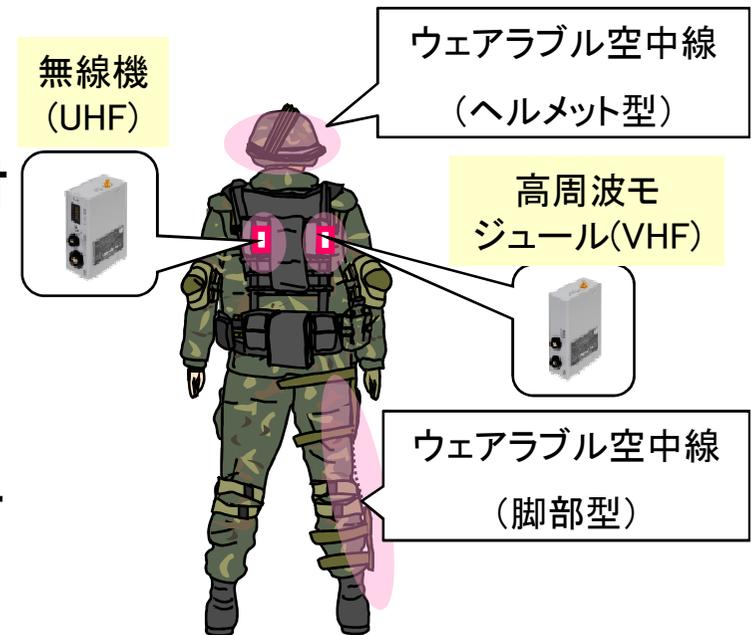
運用構想図



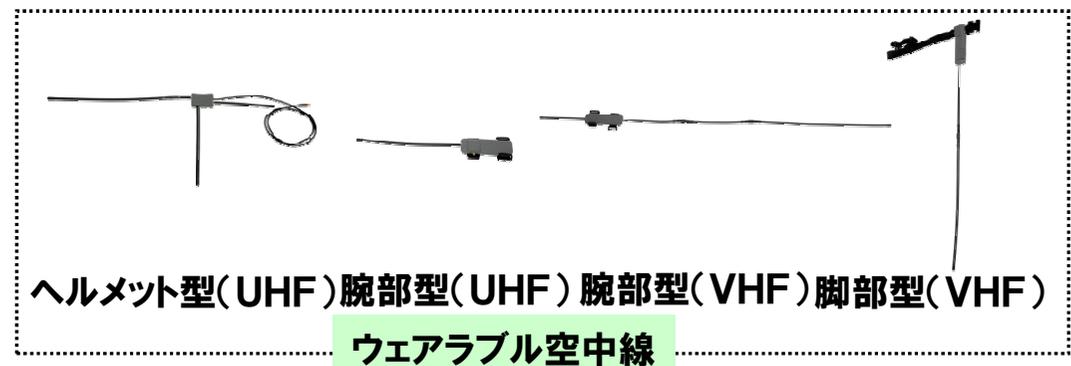
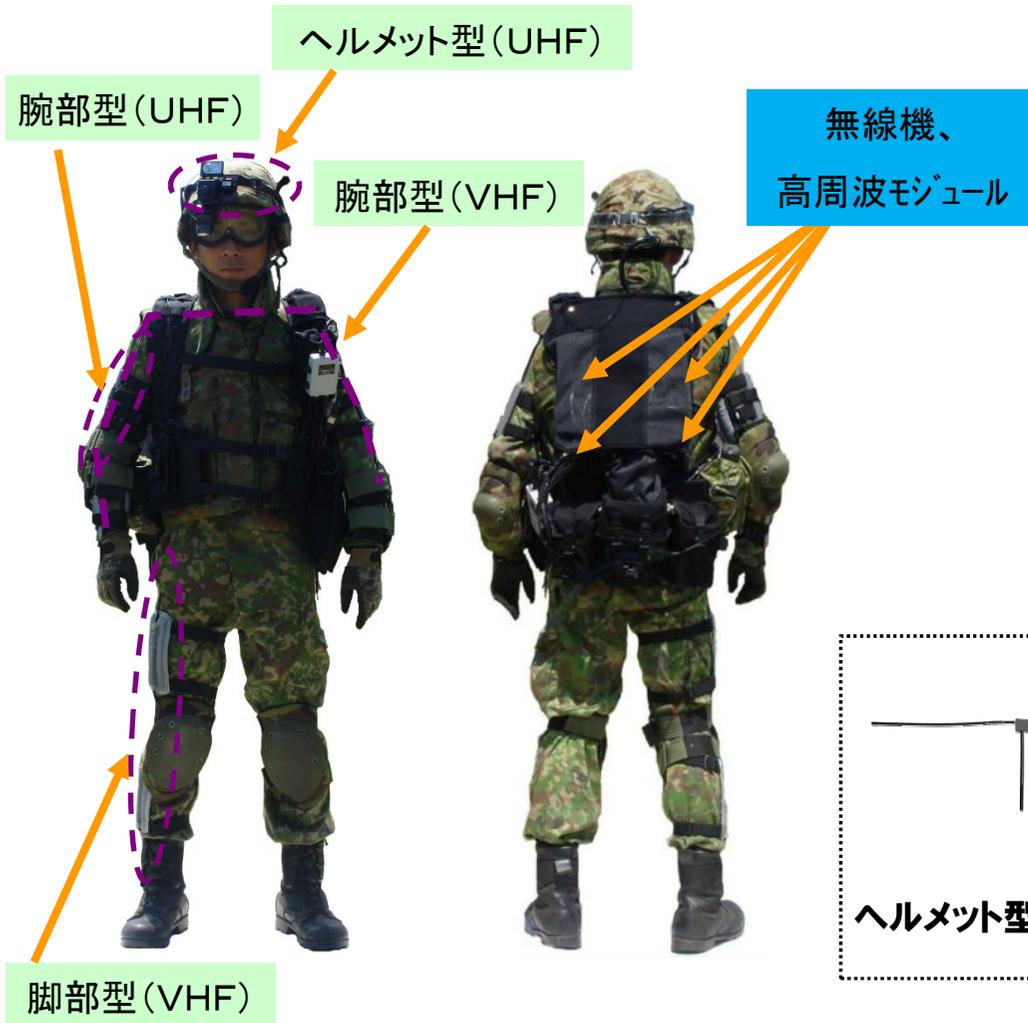
ゲリラ・コマンド事態等に対処するため、市街地や建物内等での戦闘状況下において、各隊員間で無線ネットワークを構成し、情報共有を実現する。

研究課題

- ・小型無線機(ウェアラブル無線機)
隊員の行動を阻害しない無線機の検討
- ・人体適応型空中線(ウェアラブル空中線)
隊員の行動を阻害しない空中線の検討
- ・アドホックネットワーク
市街地等の動的な環境下での情報共有を可能とするネットワークの検討



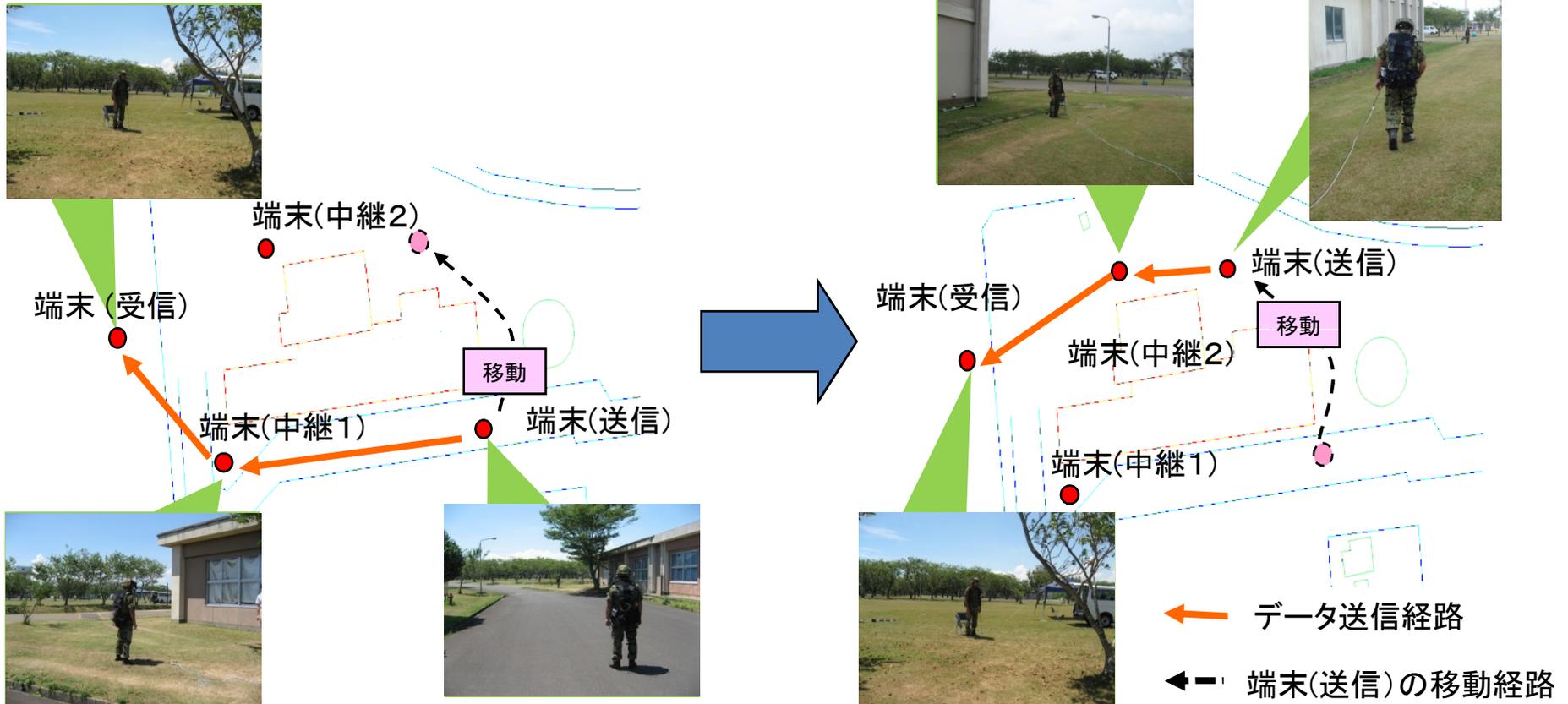
構成品の概要



試験結果の概要

(経路変更機能の試験の一例)

端末(送信)の移動による経路変更



端末(送信)の移動前

端末(送信)の移動後

端末(送信)の移動により、自動的にデータ送信経路が切り替わることを確認